

## シアカーネルのサステナブル調達

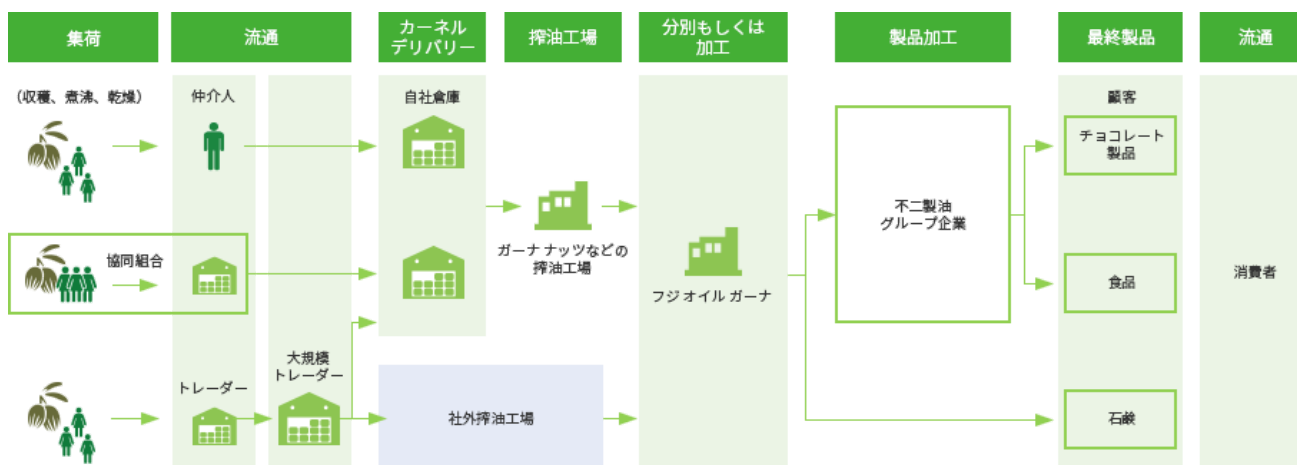
## マネジメント情報

## 事業活動との関わり

植物性油脂事業においてシアカーネル<sup>※</sup>から抽出されるシアバターは、主にココアバター代用脂（CBE：Cocoa Butter Equivalent）として、菓子製造業で幅広く使用される重要な原材料です。パーム油代替油脂としても使用されています。

シアの木は、サハラ砂漠以南の西アフリカに位置するシアベルトに自生しており、年に1度、5月～6月の間に実を結びます。シアカーネルの収穫から加工まで、伝統的に女性が携わり、その多くが協同組合に参加しています。収穫されたシアカーネルは、協同組合や農村の女性たちにより加熱処理された後、搾油工場で食用のシアバターに加工されています。

※ シアカーネル：シアの木の果実からとれる種子（シアナッツ）の中にある胚。主な生産地はナイジェリア、マリ、ブルキナファソ、コートジボワール、ガーナなど。



## 考え方

シアカーネルの持続可能な開発を強化するため、2021年6月に「責任あるシアカーネル調達方針」を策定の上、持続可能なシアカーネル調達を実現するための中長期目標とKPIを設定しました。同方針で掲げる以下の3つのコミットメントの実現を目指し、持続可能な未来のために努力してまいります。

- ・ シアの木の生息域内の緑地保全：シアの木の苗木を毎年6,000本、地域に植樹
- ・ 農村の発展と環境へ配慮した取り組みの推進：シアカーネルに関わる女性のエンパワーメントや協同組合の生産能力向上
- ・ 地域における価値創造：オペレーションスキルや品質・安全に関する教育を含む雇用創出および域内での製品の高付加価値化

> 責任あるシアカーネル調達方針（PDF形式、950KB）

## 推進体制

シアカーネルのサステナブル調達については、最高経営戦略責任者（CSO）の管掌のもと、フジオイルガーナが本事業部門と連携して推進しています。

3つのコミットメント実現に向けた推進プログラムとして、ガーナ北部の23の女性協同組合とともに、シアカーネルのサステナビリティ・プログラム「Tebma-Kandu<sup>※</sup>」を2021年3月に立ち上げ、取り組みを進めています。

※ Tebma-Kanduについては、以下のURLをご参照ください。

> [https://www.fujioilholdings.com/news/2021/\\_icsFiles/afieldfile/2021/03/11/20210311\\_news\\_j\\_Tebma-Kando.pdf](https://www.fujioilholdings.com/news/2021/_icsFiles/afieldfile/2021/03/11/20210311_news_j_Tebma-Kando.pdf)

## 目標・実績

○：目標に対して90%以上達成、△：目標に対して60%以上達成、×：60%未満

中長期目標	KPI			2021年度 目標	2021年度 実績	自己評価
	2030年	2025年	2023年			
森林保全、 女性のエンパワーメント支援	植樹6,000本/年	植樹6,000本/年	植樹6,000本/年	植樹 6,000本/ 年	植樹 6,000本	○
	Tebma-Kandu 協同組合からの調 達を含め、農村レ ベルまでのトレー サビリティ：75%	50%	30%	30%	30%	○
	Tebma-Kandu協 同組合からのシア カーネル直接調達 比率：50%	30%	20%	10%	2.5%	×
	ガーナでのシアカ ーネル搾油・分別 比率：100%	100%	100%	100%	100%	○
	フジオイル ガー ナで使用する非化 石エネルギー※比 率（蒸気発生 用）：100%	100%	95%	75%	93%	○
		フジ オイル ガー ナの正規雇用の社 員数：50%増加 (2017年比)			42%増加 (2017年 比)	○

※ シアカーネル搾油後の油粕（ミール）などを非化石燃料として使用。

### 考察

2021年度はシアカーネルのサステナブル調達を開始した年度であり、特にTebma-Kanduプログラムの立ち上げと実行に注力しました。協同組合からの反応は好意的で、現地での適切な指導のもと女性農家の方々と協力しながら取り組んだ結果、大方の目標は達成しました。一方、Tebma-Kandu協同組合からの直接調達比率は2.5%と、目標の10%には遠く及びませんでした。プログラムを進める上で頻繁かつ効率的なコミュニケーションが重要であり、言葉の壁や物理的な距離といった課題を克服する必要があります。

## Next Step

Tebma-Kanduプログラムの推進に全力を注ぎ、ポジティブな変化を生み出し、持続可能なシアカーネルのサプライチェーンを構築していきます。具体的には提携する協働組合数を増やして取り組みを拡大させ、組合とより緊密なコミュニケーションを取りながら、2022年度は以下の目標に取り組んでまいります。

- 植樹6,000本/年
- 農村レベルのトレーサビリティ：2022年までに35%
- Tebma-Kandu協同組合からのシアカーネル直接調達：2022年までに10%

### 責任あるシアカーネル調達方針達成のための課題解決アプローチ

社会課題	課題解決アプローチ	対象地域
地球環境	シアの木の生息域内の緑地保全	ガーナ
	フジ オイル ガーナにおける非化石エネルギーへの転換による環境負荷低減	ガーナ
人権	地域における価値創造	ガーナ

#### シアの木の緑地保全

現地ではシアを含む樹木が薪として伐採され、緑地は耕作地として切り拓かれており、生態系にとって深刻な脅威となっています。2021年より、毎年6,000本のシアの苗木を植樹し、シアの木の生育域内の緑地保全に貢献しています。また、Tebma-Kanduプログラムを通じて、現地NGOとともに農家に対し適切な木の管理方法をトレーニングし、過剰な伐採を抑制しています。

#### エネルギー転換による環境負荷低減

フジ オイル ガーナは、シアバター生産過程で排出される搾油後の油粕（ミール）等副産物の一部を燃料に転換するなど、生産エネルギーを鉱物油から非化石燃料へ転換することで、シアカーネル処理時のCO<sub>2</sub>排出削減や廃棄物削減を推進しています。また、副産物の燃料利用は、薪の使用量削減による森林破壊の減少や節水にもつながります。

#### 地域における価値創造

フジ オイル ガーナは、以前より、西アフリカでのシアカーネルとシアバターの加工生産を通して、現地従業員のオペレーションや品質管理・安全教育を行っており、地域の雇用創出と価値創出に取り組んでいます。また、Tebma-Kanduプログラムでは、同社は23の女性協同組合と覚書（MOU）を締結し、協同組合から一定数量のシアカーネルを一定の品質で調達するために倉庫のスポンサーシップを行い、収穫期開始前には特別の条件や制約のない事前融資を提供しています。このスポンサーシップには、現地の能力開発および森林再生プロジェクトが含まれます。本取り組みによって、ガーナ北部の約13,000名の女性農家に恩恵がもたらされ、シアカーネルに関わる女性のエンパワーメント推進と、協同組合の生産性向上につながっています。2022年以降も、Tebma-Kanduプログラムに参加する女性協同組合を継続的に募っていく予定です。

### 外部団体との協業

フジ オイル ガーナは、2013年からGlobal Shea Alliance（GSA）<sup>※</sup>、2015年からShea Network Ghanaに参画しています。これら団体の活動内容は以下の通りです。

- ・ 収穫後のシアカーネルを保管する倉庫の提供
- ・ 女性のためのビジネス研修
- ・ 労働安全衛生イニシアチブ
- ・ 植林のための用具の開発
- ・ 緑地管理の研修
- ・ 緑地保全に関する試験的なプロジェクト

※ Global Shea Alliance（GSA）：団体の詳細については、以下のURLをご参照ください。

> <https://globalshea.com/>